



Ashiya Chamber Orchestra

芦屋室内合奏団

第56回定期演奏会

2023.9.23 (土・祝日)

14:00 開演 (13:15開場)

うはらホール 神戸市立東灘区文化センター

Program

- シベリウス アンダンテ・フェスティーヴォ JS34
- バッハ ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV 1042
- <休憩>
- モーツァルト ディヴェルティメント ニ長調 K.136
- ヘンデル 合奏協奏曲 ト短調 Op.6 No.6 HWV 324
- レスピーギ リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲 P172

ヴァイオリン独奏 阿江 麗 (コンサートミストレス)
指揮 酒井 睦雄 (相愛大学名誉教授)

Program Notes

中村 有希 (国内指揮者)

今回のプログラムでは5人の作曲家の楽曲をピックアップしています。この5人は活躍した時代や地域がバラバラですが、それぞれの時代や地域を代表するにふさわしい活躍を成し得た偉人たちです。それぞれの場所で自身の音楽によって道を切り開いてきた顔ぶれであることはいうまでもないでしょう。

2023年に入り、これまで猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症は少しずつ影を潜め、これまでの”日常”が戻りつつある状況にあります。しかし、昨今のコロナ禍によって音楽活動のほとんどは自粛を余儀なくされてきました。今回の演奏会は、苦しい時代に打ち勝った芦屋室内合奏団の言わば”再出発”として、先人たちの創作意欲にあふれた作品の数々を演奏させていただきます。

シベリウス(*Jean Sibelius*) アンダンテ・フェスティーヴォ JS34

シベリウスはフィンランドを代表する作曲家である。本楽曲はフィンランドのとある工場からの依頼によって彼の創作期の最晩年に作曲された。シベリウスはこの作品を気に入っており、度々自身が指揮をする演奏会で取り上げていただけてだけでなく、彼の自作指揮音源が残っている唯一の作品である。本楽曲はト長調であるが、平行調の巧みな活用や教会旋法の使用などシベリウスの作品によく見られる手法が凝縮されている。

バッハ(*Johann Sebastian Bach*) ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV 1042

ドイツの作曲家であるヨハン・セバスティアン・バッハは、後期バロック時代を代表する作曲家のみならず「音楽の父」と呼ばれるほど西洋音楽史において重要な人物である。特にそれまでの対位法を洗練させながら和声的な音楽要素を加えた彼の作風は、同時期の作曲家のみならず現代の作曲家にまで影響を与えていると言えるであろう。

本楽曲は、バッハが残した3曲のヴァイオリン協奏曲(1番、2番、2つのヴァイオリンのための)の中では演奏機会が少ない作品であるが、ヴァイオリンの教育課程である鈴木メソッドの研究科課題曲に

選ばれるなど近年再評価が進んでいる。ヴァイオリンのヴィルトゥオーソなソロパートに加え、多彩な対位法によって構成されるこの楽曲には、様々な色彩を感じることができる。

第1楽章 Allegro 2/2 拍子 ホ長調

第2楽章 Adagio 3/4 拍子 嬰ハ短調

第3楽章 Allegro assai 3/8 拍子 ホ長調

モーツァルト (*Wolfgang Amadeus Mozart*) デイヴェルティメント ニ長調 K.136

オーストリアに生まれたモーツァルトは、幼少の頃から演奏や作曲など多岐に渡って音楽の才能を如何なく発揮していた。作曲の分野においては5歳の頃に最初の作品を残すなど、その早熟さがうかがえる。彼は35歳の若さで亡くなってしまいが、非常に多作家であったため様々な分野での作品が残っている。特に管弦楽曲の分野においては有名な作品や音楽史上重要な作品が多数存在している。

本楽曲はモーツァルトが16歳の時に作曲された作品であり、一見シンプルな作風の中に若きモーツァルトの実験的な要素がたくさん盛り込まれている。特に全ての楽章を通して同じ動機(概ね属音からの下降音形)が用いられている点は、後に活躍するベルリオーズやワーグナーの先駆けと言っても過言ではないだろう。

第1楽章 Allegro 4/4 拍子 ニ長調

第2楽章 Andante 3/4 拍子 ト長調

第3楽章 Presto 2/4 拍子 ニ長調

ヘンデル (*Georg Friedrich Händel*) 合奏協奏曲 ト短調 Op.6 No.6 HWV 324

ヘンデルはJ.S.バッハと同時期に活躍したドイツの作曲家である。ヘンデルは合唱など声楽の分野において活躍した作曲家であり、没後メンデルスゾーンが再発見するまでは忘却されていたバッハとは対照的にヘンデルは生前も没後も合唱の分野において支持を得ていた為名声が衰えなかった。

本楽曲はヘンデルが作曲した合奏協奏曲集の6曲目である。2台のヴァイオリンとチェロと弦楽合奏、チェンバロによって厳格に構成されたこの楽曲集はヘンデルの器楽曲の中では最も洗練されている。ほとんどを短調が占める本楽曲だが、ヘンデル自身のお気に入りでありしばしば自作自演がされていたと言う。

第1楽章 Largo affetuoso 3/2 拍子 ト短調

第2楽章 A tempo giusto 4/4 拍子 ト短調

第3楽章 Musette – Larghetto 3/4 拍子 変ホ長調

第4楽章 Allegro 4/4 拍子 ト短調

第5楽章 Allegro 3/8 拍子 ト短調

レスピーギ (*Ottorino Respighi*) リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲 P172

ロマン派におけるイタリアの管弦楽曲の分野で最も活躍した作曲家はレスピーギである。彼は「ローマ三部作」に代表されるようにイタリアの国民的な題材を音楽にしていた一方で、グレゴリオ聖歌やリュートなど古の音楽に積極的に触れていた。

本楽曲はヨーロッパの古楽器であるリュートのための楽曲をレスピーギが弦楽合奏用に編曲したものである。親しみやすいメロディと巧みなオーケストレーションによるこの楽曲は、弦楽合奏作品の中でも突出して演奏頻度が高い作品である。

1. 「イタリアーナ」 Andantino 3/4 拍子 変ホ長調

2. 「宮廷のアリア」 Andante cantabile 3/4 拍子 ト短調

3. 「シチリアーナ」 Andantino 3/4 拍子 ハ短調

4. 「パッサカリア」 Maestoso 3/4 拍子 ト短調

Ashiya Chamber Orchestra

芦屋室内合奏団は1965年に芦屋市浜町の橋本邸で発足しました。半世紀を超える長い年月の間に団員の入れ替わりも多くありましたが、アマチュアでも質の高い音楽を演奏するという発足当時の熱い想いが、当団の活動の原動力として途絶えることなく受け継がれています。

長い年月で培われた当団の伝統は、演奏会にいらして下さるお客様、ご指導して下さる指揮者・トレーナーの諸先生方、活動を陰で支えて下さるホール・練習施設・演奏会スタッフの皆様、団員をサポートしてくれる家族、多くの方々のご協力とご支援あつての賜物と団員一同心より感謝しております。

これからも様々な作品にチャレンジして、上質な音楽を目指して活動してまいりますので、引き続き皆さまの温かいご支援・アドバイスの程よろしくお願い申し上げます。

Conductor 酒井 睦雄 指揮、音楽監督

桐朋学園女子高等学校音楽科(男女共学)を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を齋藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F.フックス各氏に師事。1971年4月より2016年3月まで相愛オーケストラ指揮者。1977年ザルツブルクにてO.スウィトナー氏に師事。同年、東京にてS.チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。2001年には芦屋室内合奏団を率いて、ドイツのバンベルクにてバンベルク交響楽団団員とともにニューイヤーコンサート、ドレスデンにてフラウエン教会落成記念コンサート等を行い好評を博す。

2005年第19回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたる傍ら、1974年より芦屋室内合奏団音楽監督、高知大学医学部管弦楽団常任指揮者、京都薬科大学管弦楽団常任指揮者をつとめるなど、アマチュア合奏団の発展にも尽力している。2016年4月より相愛大学名誉教授。2019年8月より青山音楽賞選考委員。



Members

ヴァイオリン	阿江 麗	伊藤 優子	井上 慶浩	喜多 智佐子	古賀 美里	白石 知哉
	橋本 栄子	藤本 恭子	堀田 純子	三村 誠子	吉岡 道子	
ヴィオラ	井上 昌子	鈴木 道子	鈴木 雄二	中村 有希		
チェロ	阿江 愛	阿江 馨	中井 敏雄	村上 仁一(国友)		
コントラバス	川上 達文	末松 秀樹				
チェンバロ	小津 久子					

Officials

団長	鈴木 雄二	コンサート ミストレス	阿江 麗
事務局	堀田 純子	アシスタントコンサートマスター	井上 慶浩
会計	橋本 栄子	団内指揮者	中村 有希
監事	末松 秀樹		

第57回定期演奏会のご案内

2024年9月22日(日) 14時開演(予定)

うはらホール 東灘区文化センター

指揮 酒井睦雄 相愛大学名誉教授

芦屋室内合奏団ホームページ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ACO/>

(このホームページは、クラシック音楽情報センター(<http://www.musicinfo.com>)より、サーバーの無償使用の提供を受けています)

